

2025年大阪・関西万博に向けた
香川県版アクションプラン(実施計画)
<第3版>
令和6年10月4日

『香川県版アクションプラン(実施計画)』について

1. 策定趣旨

- 大阪・関西万博の開催効果を将来に向けて最大限享受できるよう、県内の関係者が相互の取組みに係る情報や計画を共有し、連携を図るため、「香川県版アクションプラン(実施計画)」を策定。
- 次の2点に力点を置き、大阪・関西万博の会期前・会期中に様々な取組みを効果的に実施することが目的。
 - ① 本県の魅力や強みなどを万博会場内外でアピールする「情報発信」
 - ② インバウンドを含めた誘客促進や交流イベントの開催などによる「交流拡大」

2. 本アクションプランの構成(次の取組みを掲載)

- 香川県大阪・関西万博推進協議会会員及び県内の各市町が実施する取組み
- 香川県大阪・関西万博推進協議会の趣旨に賛同する企業や団体が実施する取組み

3. 今後の更新方針

- 本アクションプランは、事業の進捗状況や新規事業の検討も踏まえながら、定期的に改訂・更新を行う。
そのため、現時点での取組みの概要を示したものであり、実際の事業については、各実施主体等において、経済性や事業効果、財政状況、事業の調整状況等を総合的に判断し、毎年度の予算編成を通じて決定する。
- 本アクションプランは、今後、協議会構成団体などあらゆる主体による幅広い取組みを掲載することで、内容を充実させていく。

目次

- 3P 情報発信＜会場内＞2025年大阪・関西万博出展事業
- 7P 情報発信
- 14P 国際交流の促進
- 16P 観光誘客の促進
- 25P 県産品等の販路拡大
- 30P 万博関連イベントの実施
- 39P 交通アクセス対策
- 41P 受入環境の向上
- 48P 県内への新技術の導入促進
- 51P 教育活動への活用
- 53P 機運醸成

情報発信＜会場内＞ 2025年大阪・関西万博出展事業

- 4 2025年大阪・関西万博出展準備事業(自治体催事への出展)
- 5 2025年大阪・関西万博出展準備事業(テーマウィークへの出展)
- 6 万博首長連合催事「LOCAL JAPAN展」への出展

2025年大阪・関西万博出展事業(自治体催事への出展)

1 目的・ねらい

万博会場における本県の認知度向上や誘客促進を目的とした自治体催事とテーマウィークへの出展に係る企画・準備等を行うほか、開催前年の県独自のプレイベント開催等を通じて、万博への機運醸成につなげる取組みを行う。

2 事業概要

自治体催事への出展 <EXPOメッセ>

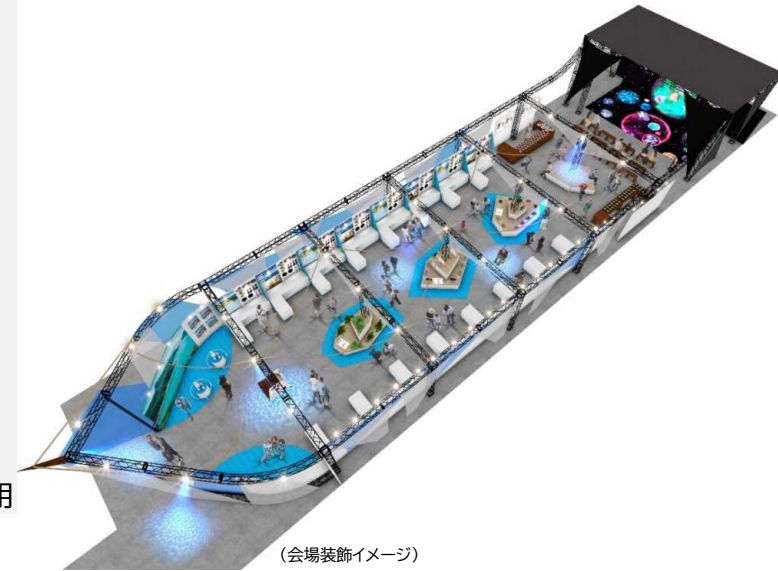
期間:令和7年4月30日(水)~5月3日(土)の4日間(予定)

【令和6年度】当初予算 20,300千円

- 香川県の魅力(自然や食文化、伝統芸能、伝統工芸品、アート・建築、瀬戸内国際芸術祭など)をPRするための出展内容の企画及び準備
- バーチャル万博参加者に向けた発信のため、県のメタバース空間を制作
- 実際の出展内容になぞらえたプレイベントを県内で実施

【令和7年度】債務負担行為 52,500千円

- 会場での自治体催事の開催
 - ・ 県の魅力を、古(いにしえ)・現代・未来を体感できる演出を施した展示や実演、ワークショップ、飲食・物販等
 - ・ 飲食スペースで「香川県認定環境配慮モデル」のリサイクル認定商品「ミルクカートン再生キッチンペーパー」を使用



(会場装飾イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
出展内容の検討	← R5.4月~ 庁内外関係者の意見を踏まえ内容検討 →		
企画・準備・調整等		← R6.4月~ 企画、万博協会等関係者との調整 →	
県内の機運醸成	← 随時 SNS等での情報発信 R5.9月~ 万博推推協議会 →	R6年度中 プレイベント開催	
万博会場での出展			← 出展(予定) →

2025年大阪・関西万博出展事業(テーマウィークへの出展)

1 目的・ねらい

万博会場における本県の認知度向上や誘客促進を目的とした自治体催事とテーマウィークへの出展に係る企画・準備等を行うほか、開催前年の県独自のイベント開催等を通じて、万博への機運醸成につなげる取組みを行う。

2 事業概要

テーマウィークへの出展<ギャラリーWEST>

期間:令和7年9月26日(金)~9月29日(月)の4日間(予定)

【令和6年度】当初予算 21,800千円

- 「地球の未来と生物多様性ウィーク」において、香川県の里海づくりなどの取組みを発信するための企画及び準備
- 瀬戸内海の自然や文化など、県の魅力を総合的にPRする動画を制作

【令和7年度】債務負担行為 29,520千円

- 会場でのテーマウィークへの出展
 - ・展示や動画の放映、ワークショップ等により、瀬戸内海の価値や海の課題解決に向けた取組みを発信
 - ・「エコTアート展」のTシャツをはじめとした「エコアイランドなおしま」のPR



(会場装飾イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
出展内容の検討	← R5.4月~ 庁内外関係者の意見を踏まえ内容検討 →		
企画・準備・調整等		← R6.4月~ 企画、万博協会等関係者との調整 →	
県内の機運醸成	← 随時 SNS等での情報発信 R5.9月~ 万博推推協議会 →		
万博会場での出展			← 出展(予定) →

万博首長連合催事「LOCAL JAPAN展」への出展

1 目的・ねらい

万博催事に出展し手袋など縫製技術の実演・展示により国内外からの来場者に向けてPRする。

2 事業概要・事業費・時期

万博首長連合の催事として、岸和田市・貝塚市・須崎市・東かがわ市の4市で「伝統工芸」をテーマに共同出展する。

- 【令和6年度】
- ・7月26日に4市で「自治体参加催事への共同出展に関する協定」を締結済み
- ・令和7年度の催事出展に向け実施内容の検討・準備、関係団体との調整
- ・連携自治体のプレイベントに出展し本市のPRに繋げる

- 【令和7年度】
- ・万博会場において、手袋などの縫製技術を他3市と連携して相乗効果のあるPRを実施
(場所:メッセ会場 出展期間:会期中の4日間)



3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
企画内容検討		← R6.2~R7.4 →	
開催に向けた準備・調整		← R6.7~R7.7 →	
広報・情報発信		← R6.7~R7.10 →	
万博会場での催事開催			↔ R7.7~R7.8

情報発信

- 8 瀬戸内国際芸術祭2025の開催
- 9 うどん県アート県ブランドプロモーション事業
- 10 大阪・関西万博を契機とした香川県に関する情報発信及び各種事業に関する広報
- 11 共創チャレンジ・共創パートナーへの登録による情報発信
- 12 「万博弁当」による地域の魅力活性事業
- 13 観光情報動画等制作・発信事業

瀬戸内国際芸術祭2025の開催

1 目的・ねらい

「瀬戸内国際芸術祭2025」を大阪・関西万博と同時期の4月18日から11月9日まで、これまでよりエリアを広げて開催し、国内外に積極的な情報発信を行って万博来場者の本県への誘客を図る。

2 事業概要

「瀬戸内国際芸術祭2025」
 会期 | 春会期:R7.4.18-5.25、夏会期:8.1-8.31、秋会期:10.3-11.9 計107日間
 会場 | 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、沙弥島(春)、本島(秋)、高見島(秋)
 粟島(秋)、伊吹島(秋)、さぬき市内※(夏)、東かがわ市内※(夏)、宇多津町内※(秋)
 高松港周辺、宇野港周辺 ※エリア拡大箇所

【R6年度】 事業費(R6当初予算): 137,960千円>
 ・作品展開や受入態勢の準備を進めながら、公式サイトやSNSで情報を発信する

【令和7年度】
 ・芸術祭を開催するとともに、適宜、イベント情報などを公式サイトやSNSで情報発信する



3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
公式サイトやSNSでの情報発信	←————→		
芸術祭開催準備	←————→ R5. 9月～R7. 11月		
芸術祭開催			←————→ R7. 4月～R7. 11月
万博会場での情報発信			←————→ 自治体催事及びテーマウィークでの情報発信

うどん県アート県ブランドプロモーション事業

1 目的・ねらい

本県の認知度やブランド力の向上を図るため、「うどん県。それだけじゃない香川県」の魅力的なテーマを設け、テレビ、雑誌等、各種媒体を活用するとともに、企業や映画とのタイアップ等のほか、SNSを中心に本県をPRする情報を効果的に発信することで、認知度を一層向上させ、本県への誘客促進を図る。

2 事業概要

瀬戸内海国立公園指定90周年記念として、映画とタイアップした観光プロモーションの実施

- ・テレビ、雑誌等へのパブリシティ活動
- ・企業や航空会社などとタイアップしたPR
- ・SNS(フェイスブック、インスタグラム等)を活用した情報発信
- ・インフルエンサーを活用した観光情報の発信 など

事業費(R6当初予算): 52,838千円



(イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
企業や映画とタイアップしたPR	←————→		
SNS、インフルエンサー等を活用した情報発信	←————→		

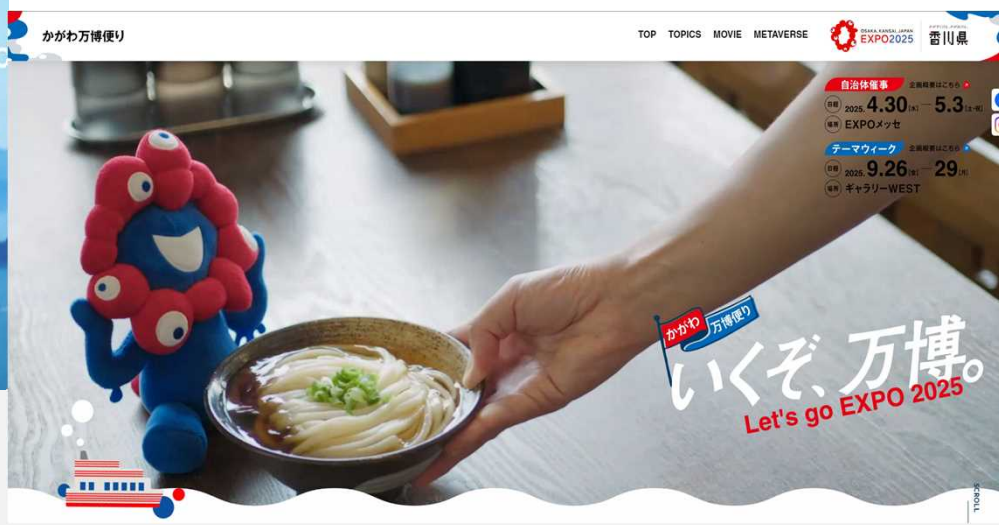
大阪・関西万博を契機とした香川県に関する情報発信及び各種事業に関する広報

1 目的・ねらい

万博を契機として、県民はもとより国内外の多くの人に、本県の魅力や万博に関する取組みに係る情報を発信することで、本県の知名度の向上やブランド力の強化、観光誘客の促進のほか、県民の万博への参画意識の高揚につなげる。

2 事業概要

- 香川県の魅力を発信する動画の制作
 - ・自治体催事やテーマウィークでの放映
 - ・万博会期後も、県PR用動画として活用
- 香川県の万博関連事業に関する広報等
 - ・県万博特設HP「かがわ万博便り」開設
 - ・特設SNS「いくぞ万博 香川県」開設
- 万博への期待感を高める取組み
 - ・池田知事による万博PRビジュアル・ポスターの制作
 - ・SNSを活用した機運醸成に向けた情報発信(万博1年前、100日前など節目ごと)
 - ・公式キャラクター「ミャクミャク」の県内のイベント等への招請



3 工程表

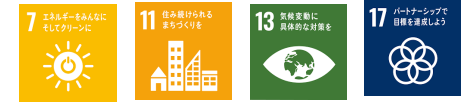
項目	R5年度	R6年度	R7年度
香川県の魅力を発信する動画の制作		制作	万博等での活用
万博関連事業に関する広報等		広報・情報発信	
万博への期待感を高める取組み		SNSを活用した発信、「ミャクミャク」の招請	
		広報活動	広報活動

共創チャレンジ・共創パートナーへの登録による情報発信

1 目的・ねらい

本市が推進する「ゼロカーボンシティの実現」に向けた取組をTEAM EXPO 2025 公式ウェブサイトを通じて全国・海外に向けて発信する。

2 事業概要・事業費・時期



○共創チャレンジ・共創パートナーへの登録を通じて本市の取組を紹介

テーマは「ゼロカーボンシティの実現」

本市は、令和4年3月に2050年までに市域の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることをめざす「ゼロカーボンシティ宣言」をしており、再生可能エネルギーの普及拡大や省エネルギー行動の促進等を通して脱炭素社会の実現をめざしている。

山や海に囲まれた豊かな自然に加え、先人より受け継いだ有数の伝統文化をもつ素晴らしい郷土・かんおんじを確実に後世に引き継ぐため、官・民がその垣根を越えて連携する取組について国の内外に発信するとともに、発信によってさらなる交流人口や関係人口の創出にも繋げることで持続可能なまちとして確立したい。

○主な内容(想定)

- (1) TEAM EXPO 2025 公式ウェブサイトを通じた情報発信
- (2) 万博会場内デジタルサイネージでの情報発信
- (3) その他情報発信(本市公式SNS等)



「観音寺市地球温暖化対策実行計画」表紙より

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
共創チャレンジ・共創パートナーの登録申請		⇄ 申請	
共創チャレンジ・共創パートナーにかかる情報発信		承認	~R7.10頃

「万博弁当」による地域の魅力活性事業

1 目的・ねらい

東かがわ市の地場食材を使ったお弁当を通して、地域の魅力を国内外に発信する。

2 事業概要

■事業概要

万博首長連合が企画する、全国各地が地域産品を持ち寄った共創型弁当の開発企画である「万博弁当」プロジェクトに参加し、地域の特産品をPRする。

■時期

第一弾：R5.4～R5.6 かめびし醤油採用(調味料として提供)

第二弾：R5.10～R6.1 ひけた鰯採用(大根とひけた鰯の鳴門煮として提供)



3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
万博弁当企画参画	← R5.4～R7.4 →		
情報発信・PR	← R5.6～R7.9 →		
販売検討	← R5.6～R7.9 →		
現地会場等での販売(予定)	← R7.4～R7.9 →		

観光情報動画等制作・発信事業

1 目的・ねらい

新型コロナウイルスの影響により観光客数が伸び悩んでいる中、2025年には大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭が開催予定であり、世界中から瀬戸内が注目されるチャンスであるため、作成する情報コンテンツを多言語化し、外国人をターゲットにした発信に取り組み、外国人観光客の増加を図る。

2 事業概要

【令和5年度】

- ①電子媒体を活用した観光情報資料の作成
- ②動画の制作
- ③作成した成果物の情報発信

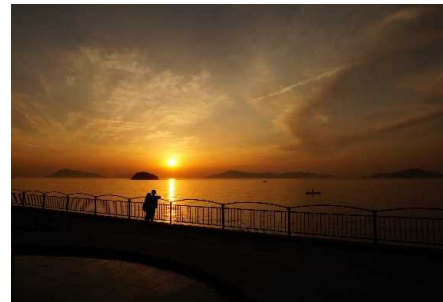
<R6.1月～3月>



【令和6年度】

- ①制作した情報コンテンツの効果的な発信⇒本町の認知度向上へ

<R6.4月以降>



3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
①観光情報動画等制作・発信事業		↔ R6.1～3月頃	
②情報コンテンツの効果的な発信		←→ R6.4月以降 継続	

国際交流の促進

15 国際交流プログラム活用事業

万博国際交流プログラム活用事業

1 目的・ねらい

大阪・関西万博を契機に、万博参加国と本県との交流を活性化させるため、各種交流事業を行うとともに、万博及び本県のPRを行う。

2 事業概要・事業費・時期

○事業概要

相手国関係者への本県のPR、本県における相手国の紹介、万博のPR等を通じて、万博に向けた機運醸成を図るとともに、相手国と本県との交流を深め、万博会期後においても継続する関係を構築する。

○対象国

- ・イタリア
- ・ブラジル
- ・ベトナム
- ・パラオ
- ・スペイン(丸亀市と共同で実施)



(イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
万博のPR、相手国との交流		←→	
相手国関係者への本県PR			←→
万博会期後の交流			←→ 15

観光誘客の促進

- 17 万博を契機とした誘客促進事業
- 18 万博を契機とした他県連携相互誘客事業
- 19 国際イベント等を活用した誘客対策事業
- 20 ビジット香川誘客重点促進事業
- 21 持続可能な観光地域づくり支援事業
- 22 神戸市・高松市・土庄町・小豆島町連携事業
- 23 万博来場者をターゲットとした県内誘客旅行商品造成事業
- 24 SICS(瀬戸内アイランド・コンシェルジュ・サービス)のプラットフォームを活用したエリア開発事業

万博を契機とした誘客促進事業

1 目的・ねらい

大阪・関西万博を契機とした誘客促進を図るため、OTA事業者や大手旅行会社と連携した旅行商品の造成・販売促進などを実施する。

2 事業概要

- OTA(オンライントラベルエージェント※)事業者との連携によるマーケットデータを活用した戦略的な誘客や、大手旅行会社との連携による周遊・滞在型の商品造成、流通支援により、本県への誘客促進を図る。

※ OTA:ウェブ上で取引きを行う旅行会社のこと。

事業費(R6当初予算): 34,600千円



(イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
OTA事業者との連携による戦略的な誘客		←	→
大手旅行会社との連携による周遊・滞在型の商品造成、流通支援		←	→

万博を契機とした他県連携相互誘客事業

1 目的・ねらい

大阪・関西万博を訪れる観光客に向け、効果的な情報発信や他県と連携し本県を周遊する旅行商品を造成するなど、認知度向上や新たな市場開拓につなげ、誘客促進を図る。

2 事業概要

- 兵庫県や岡山県といった他県と連携し、万博を訪れる観光客に向けて、効果的な情報発信や、本県と連携する県を広域的に周遊する旅行商品の造成など、認知度向上や新たな市場開拓につなげ、誘客促進を図る。

事業費(R6当初予算)：：4,700千円



(イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
広域周遊型旅行商品の造成・販売		←→	
広域周遊型旅行商品の造成・販売			←→

国際イベント等を活用した誘客対策事業

1 目的・ねらい

海外からの誘客、特に欧米豪市場を対象に継続的かつ戦略的な情報発信・誘客対策に取り組む。

2 事業概要

- ・ 航空会社と連携し、訪日旅行を検討する層に向けたデジタルマーケティング等の実施
- ・ 首都圏や関西圏でのデジタルサイネージ等を活用した情報発信
- ・ SNSや万博ポータルサイト等を活用した情報発信

事業費(R6当初予算):7,500千円



(イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
航空会社との連携によるデジタルマーケティング等	←————→		
デジタルサイネージや万博ポータルサイト等を活用した情報発信等	←————→		

ビジット香川誘客重点促進事業

1 目的・ねらい

外国人観光客の来訪を促進するため、観光客増加が期待できる韓国、中国、台湾、香港等、主に東アジアを対象に、観光香川の魅力をPRする等の誘客活動を行う。

2 事業概要

現在、直行便が就航しているソウル、上海、台北、香港を中心に誘客活動を行うとともに、将来の定期便化を見据え、タイやベトナムなど東南アジア地域からのチャーター便誘致等に取り組む。

- ・観光キャンペーンの実施
- ・旅行雑誌、旅行エージェント招へいなどによる香川の観光資源のPR
- ・新聞、雑誌、Web等各種メディアを活用した情報発信
- ・旅行エージェントへの商品造成働きかけ及び送客支援
- ・PRツール(パンフレット・グッズ等)の作成 など

事業費(R6当初予算)： :611,361千円



(イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
観光キャンペーンや観光資源PR	←————→		
Web等の各種メディアを活用した情報発信	←————→		

持続可能な観光地域づくり支援事業

1 目的・ねらい

持続可能な観光地域づくりを目指し、民間事業者等が実施する観光客の継続的な来訪や長期滞在を促進すること等を目的とした観光コンテンツの造成や誘客イベントに対して支援を行う。

2 事業概要

市町、市町観光協会、民間事業者等が実施する地域資源を活用し、新たな観光コンテンツの造成や観光誘客を図るためのイベントに対して経費の一部補助を行う。

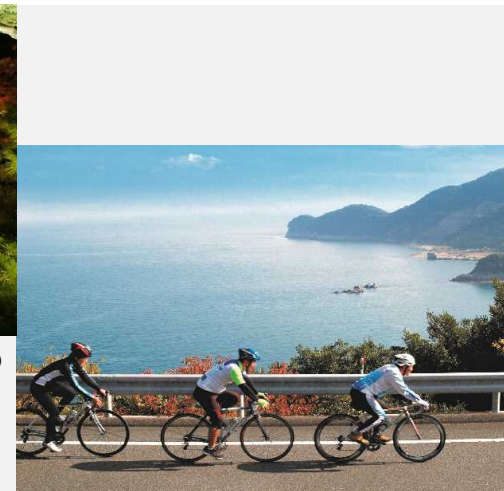
【補助内容】

- ①観光コンテンツの造成に対する支援
- ②祭り、イベントの再生に対する支援
- ③周年イベント等の実施に対する支援

事業費(R6当初予算): 15,020千円



(イメージ)



3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
観光コンテンツの造成や誘客イベント等への補助事業		←————→	←————→

神戸市・高松市・土庄町・小豆島町連携事業

1 目的・ねらい

「神戸市、高松市、土庄町及び小豆島町の連携・協力に関する協定」の座組で、万博を訪れる訪日客の2市2町への誘客を図る。

2 事業概要

【事業概要】：欧米や訪日頻度の多い東アジア圏からインバウンド客の取り込みを強化するため、「神戸・小豆島・高松」ルートにおいて、4市町合同でのPR・商品造成を行う。

- 令和5年度：台湾の旅行会社3社3名とメディア2社2名を招請し、
 - ・4市町周遊ルートのFAMツアーを実施（R5.10月16～19日実施）
 - ◇事業費/4,500千円（4市町合計）
- 令和6年度：神戸や小豆島、高松における「食」「自然」等を中心とした観光資源・体験を活かし、4市町を海路で繋ぐ周遊型旅行商品を造成する。
 - ・4市町周遊ルート国内AGTモニターツアーを実施（R6.7月3～6日実施）
 - ・4市町周遊ルートのFAMツアー（R6.9月30日～10月3日実施予定）
 - ・4市町周遊ルート旅行商品の造成・販売（12月以降）
 - ◇事業費/9,000千円（4市町合計+国費1/2）
- 令和7年度：プロモーション等（詳細未定）



(イメージ)

3 工程表

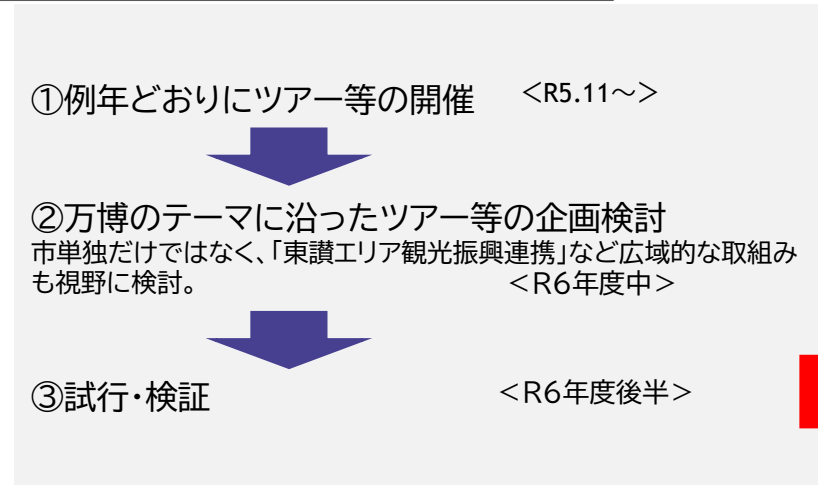
項目	R5年度	R6年度	R7年度
FAMツアー等	↔		
欧米旅行商品造成等		↔	
旅行商品販売等			↔

万博来場者をターゲットとした県内誘客旅行商品造成事業

1 目的・ねらい

例年、旅行者等と連携して企画・実施しているツアー・体験プログラムにおいて、万博のテーマに沿った商品を新たに造成することにより、県内への誘客を図る。

2 事業概要・事業費・時期



◎大阪・関西万博期間中に万博テーマツアー・体験プログラムの実施 <R7.8月頃~>

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
①例年のツアー等開催	↔ <R5.11~>		
②万博のテーマに沿ったツアー等企画検討		↔	
③試行・検証			↔ <年度後半>
◎万博テーマツアー等の実施			→

SICS(瀬戸内アイランド・コンシェルジュ・サービス)のプラットフォームを活用したエリア開発事業

日本旅行業協会中四国支部
香川県支部(JTB高松支店)

1 目的・ねらい

大阪関西万博・瀬戸内国際芸術祭の同時開催年において、土日や連休への需要の集中、特定地域での訪問客の著しい増加や時期の集中による観光地の混雑などが想定される。例年行っているSICSというチャーター船等を活用した新たな島旅の過ごし方を提供するプラットフォームを活かし、島内での混雑回避や旅行者の満足度向上に繋がる仕組みを構築する。

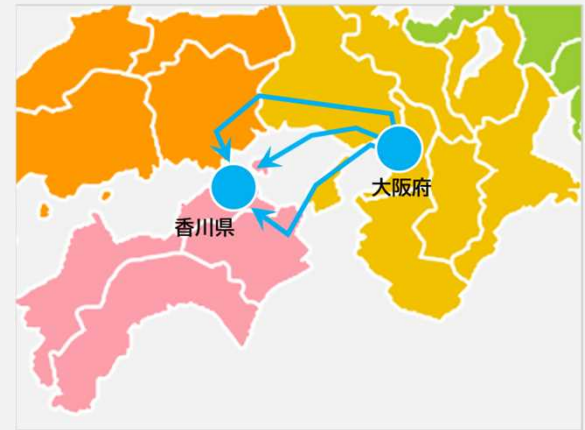
2 事業概要・事業費・時期

①小豆島でのエリア開発事業

- 令和6年 8 月 IoT を搭載した最新式のシェアサイクル専用車両 160 台を導入
- 令和6年 9 月 自動運転バスの導入の実証
- 令和6年 11 月 自律運航無人ボートの実証およびポケットーク社 AI 翻訳機導入
- 令和6年 11 月 国立公園における AI ドローンを活用した事業開発

②瀬戸内広域でのエリア開発事業

- 令和6年5月 SICSサステナブルラウンジ・クセモノズを開業
- 令和7年4月 チャーター船の予約決済システムの導入
- 令和7年4月以降 関西からの誘客を目的とした空路での誘客事業



3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
①小豆島でのエリア開発事業		●R6.8月シェアサイクル導入 ●R6.11月AIドローン事業開発 ●R6.9月自動運転バス実証 ●R6.11月自動運航ボート実証	
②瀬戸内広域でのエリア開発事業		●R6.5月SICSサステナブルラウンジ・クセモノズを開業 ●R7.4月以降 空路からの誘客事業	●R7.4月チャーター船予約システム導入

県産品等の販路拡大

- 26 期間限定大阪アンテナショップ設置事業
- 27 関西圏における「かがわの食」魅力発信フェア実施事業
- 28 栗林庵リニューアル事業
- 29 2025年大阪・関西万博での商機開拓

期間限定大阪アンテナショップ設置事業

1 目的・ねらい

県産品の認知度向上、ブランド力の強化を図るため、大阪梅田において期間限定の「香川県アンテナショップ」を開設し、県産品の効果的な情報発信を行い、新たな販路開拓・販路拡大につなげていく。

2 事業概要

- 大阪・関西万博開催にあわせ、関西圏において最も人流が多い大阪梅田に期間限定の「香川県アンテナショップ」を開設し、県産品の認知度向上やブランド力強化を図り、消費者に県産品の魅力を直接訴求することにより、新たな販路開拓や販路拡大につなげていく。
- あわせて香川の「食」の情報や観光情報等を提供することにより、香川県への誘客を図る。

時期 令和6年11月 2週間程度

場所 阪急梅田駅2階中央催事店

内容 県産品の物販、観光情報提供等

事業費(R6当初予算):1,846千円(運営委託料、什器レンタル費等)

※令和7年度は、万博会期中に実施予定



(イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
開催企画内容検討		←→ R6.4~10	
出展品目検討、運営委託準備		←→ R6.4~10	
広報・情報発信		←→ R6.10~R7.10	
イベント開催		←→ R6.11(予定)	←→ 万博会期中(予定)

関西圏における「かがわの食」魅力発信フェア実施事業

1 目的・ねらい

大阪・関西万博の開催を控え、国内外から多数の観光客が関西圏に訪れることが見込まれることから、関西圏の外資系ホテル等のレストランにおいて「香川県フェア」を開催し、香川県と県産食材等の魅力発信を図るとともに、需要喚起を促し、県産品の販路開拓・拡大につなげる。

2 事業概要

- 大阪・関西万博開催に向けて機運醸成の取組みが加速する令和6年度から、大阪市内において「香川県フェア」を実施する。

時期 令和6年10月～令和7年3月(予定)
 場所 外資系ホテル等 3箇所程度(シェラトン都ホテル大阪等)
 事業費(R6当初予算):2,733千円

※令和7年度は、万博会期中に実施



(イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
開催企画内容検討		← R5.10～R7.3 →	
出展品目検討、運営委託準備		← R5.10～R7.7 →	
広報・情報発信		← R6.10～R7.10 →	
イベント開催		← R6.10～R7.3 →	← 万博会期中(予定) →

栗林庵リニューアル事業

1 目的・ねらい

大阪・関西万博の開催により、県内でも交流人口が大幅に増加することが見込まれるため、栗林庵の全面的なリニューアルを行い、利用者の利便性を向上させ、県産品の情報発信、販路拡大につなげていく。

2 事業概要

- 栗林庵店内を全面的にリニューアルし、利用者の利便性を向上させ、購買者数、販売額の増加につなげる。
- 付加価値の高い商品の魅力を訴求するコーナーを設置し、商品説明の多言語化など、高額商品の販売促進を図る。
- 県産木材を活用した陳列棚を製作し、香川らしさを全面的にPRした魅力ある売り場に変更し、より一層県産品の情報発信、販路拡大につなげていく。

【栗林庵全面リニューアル】

時期 令和7年2月頃(工事等により2週間程度休店予定)

内容 利便性を向上させる店内レイアウトの変更、県産木材を活用した陳列棚の製作
インバウンド増加による店内サインの統一等

事業費(R6当初予算):10,714千円(レイアウト設計、什器製作・設置料、広告代等)



3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
リニューアル内容検討	←→ R5.8~R6.4		
什器製作、リニューアル工事		←→ R6.5~R7.2	
広報・情報発信		←→	R6.12~R7.2
リニューアルフェア開催			↔ R7.2

2025年大阪・関西万博での商機開拓

1 目的・ねらい

2025年大阪・関西万博を見据え、関西圏における販路開拓取組支援を行う。

2 事業概要

【R5～R7年度】

①関西圏の新需要に係る調査研究

関西圏での商談会・展示会出展に向けたセミナー等を実施する。

②関西圏での販路開拓及び海外展開等を視野に入れた商品開発並びに販路開拓支援

伴走支援型の新商品・新サービス開発支援事業(GROW UPプログラム)により、小規模事業者等の関西圏への販路開拓を支援する。

③現地視察

部会・委員会を中心に「2025年大阪・関西万博」の近隣地域が取り組む需要取込のための諸施策について現地視察等の情報収集を行う。

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
①調査研究	R5年4月～R7年10月		
②商品開発・販路開拓支援	R5年4月～R7年10月		
③現地視察	R5年4月～R7年10月		

万博関連イベントの実施

- 31 離島活性化推進事業(せとうち島フェスタ)
- 32 県立アリーナオープニング記念
”香川×岡山”食の大博覧会事業
- 33 「さぬきの棚田20選」PR事業
- 34 産官学連携事業「デジZフェス!!」

- 35 ファクトリーツーリズム事業
- 36 「宇多津秋の大収穫祭」と「うたづの町家とおひなさん」拡大開催事業
- 37 たどつ港まつり花火大会拡大開催事業
- 38 たどつさくらまつり実施事業

離島活性化推進事業(せとうち島フェスタ)

1 目的・ねらい 離島と本土の交流促進、離島相互間の交流促進を図る。

2 事業概要

- 万博関連事業に位置付け、各万博関連事業等のPRを行うとともに島の歴史や文化などの情報発信やワークショップ等の内容を充実・拡充し、万博から本県へ誘客した観光客等に対して、離島の魅力をPRすることで、実際に島へ足を運ぶきっかけとする。

時 期:令和6年11月14日(香川県万博プレイベントと同時開催)
事業費(R6当初予算):1,600千円

※令和7年度は、万博会期中に実施



(イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
せとうち島フェスタの実施		 R6秋頃(予定)	 万博会期中(予定)

県立アリーナオープニング記念 “香川×岡山”食の大博覧会事業

1 目的・ねらい

大阪・関西万博及び瀬戸内国際芸術祭を契機に、重要な観光資源のひとつである「食」をテーマにしたイベントを開催し、インバウンドをはじめとした誘客促進を図るため、讃岐うどんをはじめとした本県の食材や食文化の魅力発信・消費拡大及び交流促進を図る。

2 事業概要

県産食材やグルメ等「かがわの食」が一堂に集まるイベントを開催し、うどん打ち実演や伝統工芸のワークショップを行うなど「食」を中心とするイベントを開催する。岡山県と連携し、備讃瀬戸の食や食文化を集める。

会場候補案：県立アリーナ(サンポート高松)



(イメージ)



3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
イベント企画検討		←→ R6.4~12	
出展者募集			←→ R7.2~3
広報・情報発信			←→ R7.4~5
イベント開催			←→ R7.5

「さぬきの棚田20選」PR事業

1 目的・ねらい

香川県では、棚田を核とした地域活動や棚田の良好な景観を発信し、保全に向けた地域外からの支援につなげるとともに、地域活動の活性化を図るため、「さぬきの棚田20選」などをはじめとした情報発信や活動支援、人材育成などに取り組んでいる。

大阪・関西万博と瀬戸内国際芸術祭の同時開催に合わせて、国内外から集まる観光客に向けて「さぬきの棚田20選」を発信し、認知度向上による関係人口の拡大を図り、棚田の保全活動支援につなげる。

2 事業概要

①棚田ライトアップ

- 令和6年11月23日(土)から12月1日(日)まで、土庄町豊島にある「唐櫃の棚田」で開催。
- 豊島小中学校の子どもたちに、大阪・関西万博へのメッセージを書いてもらった円筒ガラスを展示する。

②かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト

- 棚田賞を設けて棚田写真の応募を促し、情報発信に活用する。



「さぬきの棚田20選」唐櫃の棚田(土庄町豊島)



ライトアップイメージ

事業費(R6当初予算): 5,490千円

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
棚田ライトアップ		R6.3 ↔	R6.11-R6.12 ↔ 万博カラーで実施
かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト	R5.4-R5.12 ↔	R6.4-R6.12 ↔	R7.4-R7.12 ↔ 万博カラーで実施
			33

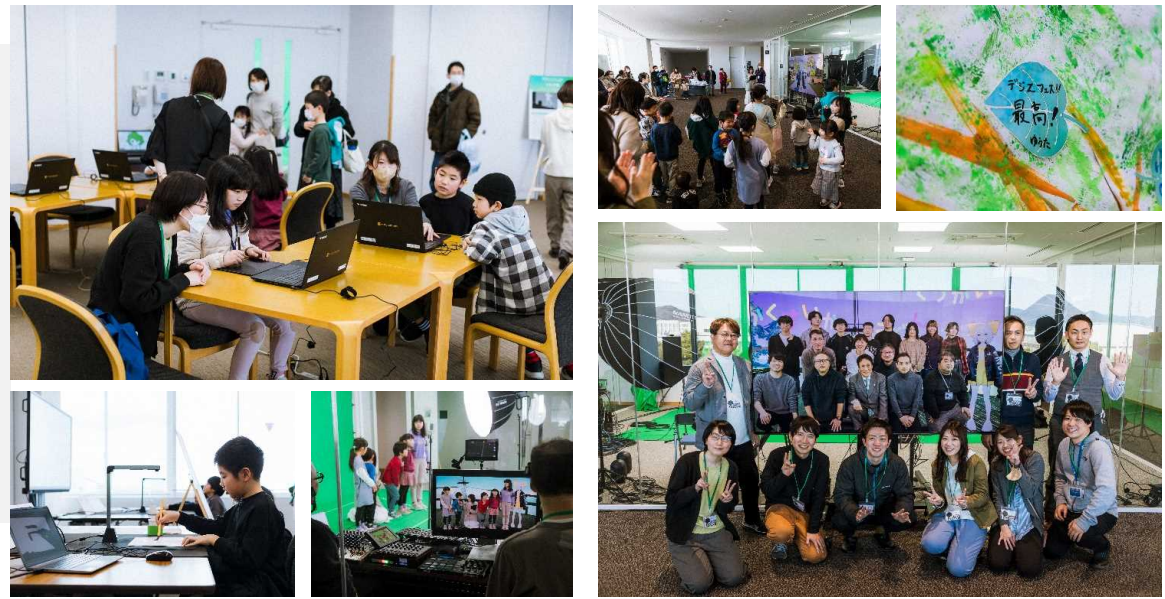
産官学連携事業「デジZフェス!!」

1 目的・ねらい

産官学連携でデジタル体験型イベント「デジZフェス!!(読み:デジフェス)／<https://www.itc-zentsuji.jp/>」を開催。イベントに万博の要素を加えることで、シティプロモーションや関係人口の増加を推進する。

2 事業概要・事業費・時期

令和4年度より、地域の未来を担う子どもたちに新しい可能性の扉(気付き)を提供するため、「善通寺市」「ベースメントファクトリープロダクション(株)(東京)」「日本電子専門学校(東京)」の共創事業として、デジタル体験型イベント「デジZフェス!!」を開催。
 ※TEAM EXPO 2025「共創チャレンジ」への登録済。
<https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/1571>
 <R6予算 1,000千円>
 R6年度:8月と2月にイベント開催。
 <R7予算未定>
 香川県の自治体催事会場にて、万博とタイアップしたデジZフェス!!を開催予定。



3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
「デジZフェス!!」開催		R6.2.24【デジタル×つたえる】 ↔ R6.8.23【デジタル×創造】 ↔ R7.2【デジタル×未定】	
企画・準備・調整等	↔	↔ ↔ ↔	↔
万博会場での出展			R7.4【デジタル×未定】※香川県自治体催事にて出展

ファクトリーツーリズム事業

1 目的・ねらい

ものづくりの聖地・地域全体の活性化 万博を契機とし国内外へ認知を広げる。

2 事業概要

民間事業者が主催するファクトリーツーリズム事業を実施。手袋や革製品などの縫製技術をはじめとした地域のものづくりを体験・見学し、職人と交流しながら製造業の思いに触れることで実売に繋げていく。イベント開催によりものづくりの聖地を目指す。産業のみならず観光や飲食などの活性化にも繋げる。

①②プレイベント実施 R5.6.9-10 プレイベントを実施
R5.10.23-25・R6 イベント実施済

③万博との連携を目指す。万博と連携したイベントを実施予定



(イメージ)

3 工程表

項目	R5年度		R6年度		R7年度
①プレイベント実施	◀▶	◀▶			
②プレイベント実施	6/9-10	10/23-25	◀▶	◀▶	
③万博と連携した実施予定			5/30-6/1	11/28-12/1予定	◀▶ R7時期未定

「宇多津秋の大収穫祭」と「うたづの町家とおひなさん」拡大開催事業

1 目的・ねらい

例年開催されているイベントに万博の要素を加えることで、賑わいの創出と気運の醸成を図る。

2 事業概要

①例年どおりにイベントの開催
(対象イベント)

「宇多津秋の大収穫祭」
「うたづの町家とおひなさん」

<R5.11月頃> (R5予算 11,450千円)
<R6.3月頃> (R5予算 3,000千円)



②万博とタイアップしたイベントの開催
「万博PRブースの設置」など

「宇多津秋の大収穫祭」
「うたづの町家とおひなさん」

<R6.11月頃> (R6予算 13,084千円)
<R7.3月頃> (R6予算 3,800千円)



(イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
①イベントの開催	↔ ↔		
②万博タイアップイベントの開催	R5.11月頃 R6.3月頃	↔ ↔	
		R6.11月頃 R7.3月頃	

たどつ港まつり花火大会拡大開催事業

1 目的・ねらい

既存の「たどつ港まつり花火大会」に、大阪・関西万博及び瀬戸内国際芸術祭の要素を加え賑わいを誘引する。

2 事業概要

- 毎年8月の第1度曜日に開催されている「たどつ港まつり花火大会」について、令和7年度は万博が後半に差し掛かり、瀬戸芸は夏会期開催中の日程で開催予定である。2つの大きなイベントと絡めた観光客の獲得に向け、花火の内容を華やかに行ったり、SNSを活用したPRをおこなうなど、多度津町の積極的な広報活動を実施する



3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
イベント企画検討		R6.10~R7.5月	
業者・警察等打ち合わせ		R7.5~7月	
広報・情報発信		R7.6月~7月	
イベント開催			R7.8月

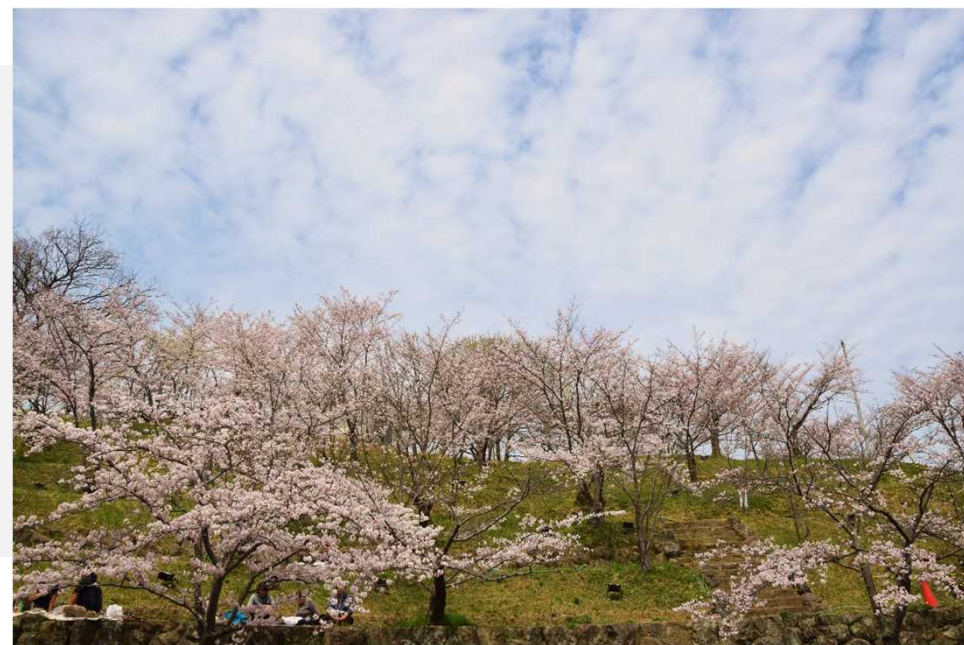
「たどつさくらまつり」実施事業

1 目的・ねらい

既存の「たどつさくらまつり」に、大阪・関西万博及び瀬戸内国際芸術祭の要素を加え賑わいを誘引する。

2 事業概要

- ・毎年4月の第1日曜日に開催されている「たどつさくらまつり」について、令和7年度は万博と瀬戸芸の開幕直前に開催予定であるため、2つの大きなイベントに向けて、多度津町の積極的な広報活動を実施する。
- ・約1,500本のソメイヨシノが咲き誇る県立桃陵公園では、さくらまつりのほか、桜の開花状況に合わせたライトアップも実施されており、期間中は夜桜も楽しめる。日本特有の文化である桜を積極的にPRし、誘客に努める。



(イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
イベント企画検討		R6.11~R7.2月	
出展者選定		R7.1月~2月	
広報・情報発信		R7.2月~3月	
イベント開催			R7.4月

交通アクセス対策

40 都市間高速バスの万博会場への乗入れの働きかけ

都市間高速バスの万博会場への乗入れの働きかけ

1 目的・ねらい

関西圏と香川県との間の移動手段の一つである高速バスによるアクセス向上により、万博来場者の本県への来訪や県民の万博への訪問に当たっての利便性向上を目指す。

2 事業概要

高松と大阪・神戸を結ぶ高速バスの万博会場への乗入れに係る関係者からの情報収集を行うとともに、事業者に対して万博会場への乗入れの働きかけを行う。

(令和6年度)

- ・高速バス運行会社との意見交換、延伸等に係る働きかけ
- ・会場バスターミナルの仕様等に係る万博協会からの情報収集
- ・高速バス利用に係る情報発信

(令和7年度)

- ・来場者への情報発信等



(イメージ)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
意見交換、働きかけ		R6.4-R7.3	
情報収集		R6.4-R7.3	
情報発信等		R6.4-R8.3	40

受入環境の向上

- 42 外国人観光案内所運営事業
- 43 栗林公園誘客促進・インバウンド受入機能強化事業
- 44 県立文化施設の受入環境整備
- 45 空港リムジンバスキャッシュレス化支援事業
- 46 かがわの農泊推進事業
- 47 観光振興シェアサービス事業

栗林公園誘客促進・インバウンド受入機能強化事業

1 目的・ねらい

外国人観光客の増加が見込まれる2025年に向け、国内外から本県への誘客を図るため、栗林公園の魅力発信ツールを充実させるとともに、来園者の利便性を一層向上させる。

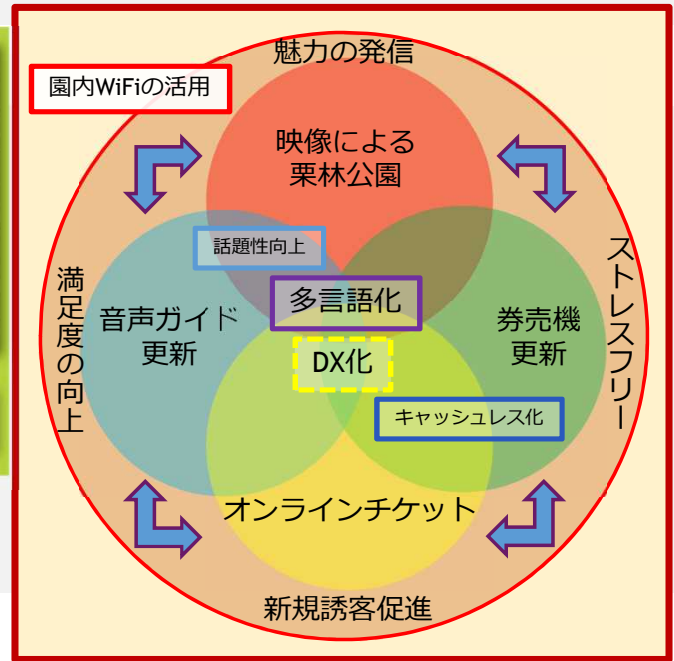
2 事業概要

国内外の多様な来園者に対応するため、多言語の充実を図るとともに、キャッシュレス化やDX化を進めるもの
 事業費(R6当初予算): 25,787千円

- ①映像による栗林公園の魅力発信(R6年度)
- ②園内鑑賞ポイントのガイド情報の充実(R6年度)
音声・テキストの多言語の充実
- ③多言語・キャッシュレス対応自動券売機の導入(R6年度)
- ④海外オンラインチケットの導入(R6年度)
- ⑤①の映像活用(万博及びHP等にて発信)(R7年度)
②のデータを活用しDX化を検討(R7年度以降)
③～④のデータ等を活用しサービス向上に反映(R7年度)



(イメージ)



3 工程表

項目	R6年度	R7年度
①映像による栗林公園の魅力発信	R6.4~3 映像制作	イベント会場等にて放映・国内外に発信
②園内鑑賞ポイントのガイド情報の充実	R6.4~12 ガイド情報作成 R6.8~R7.3 データ公開	データを活用しDX化を検討
③多言語・キャッシュレス対応自動券売機の導入	R6.4~8 券売機カスタマイズ	販売実績データの分析 → サービス向上に反映
④海外オンラインチケット販売の導入	R6.4~6 導入準備 R6.7 販売開始	販売実績データの分析 → サービス向上に反映

県立文化施設の受入環境整備

1 目的・ねらい

国内外から本県への観光客等の増加が見込まれる2025年に向け、県立文化施設の魅力と利便性を高めるため、情報発信ツールの充実や来場者の満足度の向上につなげるための取組みを行う。

2 事業概要

(イメージ)

- ①県立文化施設の受入環境整備事業
東山魁夷せとうち美術館において、リーフレット多言語化、キャッシュレス化を進める。
事業費(R6当初予算): 1,193千円
- ②東山魁夷せとうち美術館開館20周年記念事業
開館20周年を記念し、特別展の開催や関連グッズの製作を行う。
事業費(R6当初予算): 4,506千円



3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
①県立文化施設の受入環境整備		リーフレット多言語化及びキャッシュレス機器導入	
②東山魁夷せとうち美術館開館20周年記念		企画検討・グッズ製作	特別展実施(春・秋)
③瀬戸内海歴史民俗資料館魅力向上		動画制作・広報等	

空港リムジンバスキャッシュレス化支援事業

1 目的・ねらい

大阪・関西万博を契機とした本県への観光客等の受入環境整備として、キャッシュレスの整備を支援するもの。

2 事業概要

- 大阪・関西万博を契機とした本県への観光客等の受入環境を整備するため、空港リムジンバス事業者に対し、運賃決済のためのクレジットカード決済端末導入費用等を支援する。

事業費(R6当初予算): 45,469千円(整備費・利用料・広告費)



※画像はイメージであり、実際のキャッシュレス化の内容を表すものではありません。

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
整備		R6年度(予定)	
広告		R6年秋頃-R7.3頃(予定)	
運用		R6年秋頃(予定)～	

かがわの農泊推進事業

1 目的・ねらい

大阪・関西万博開催を契機に、農泊及びグリーン・ツーリズム体験施設の受入体制強化と情報発信に取り組み、県内の農山漁村地域と都市住民の更なる交流を図る。

2 事業概要

- ①農泊の地域連携運営支援セミナー(R6.7.31開催)
- ②地域で連携した農泊運営支援のための先進地視察会
- ③インバウンド受入研修会(R6.9.12開催)
- ④体験提供に前向きな農家を対象とした初心者向け研修会
- ⑤体験コンテンツの造成
- ⑥農泊、グリーン・ツーリズムに関する情報発信
- ⑦農泊、グリーン・ツーリズム実践者支援

事業費(R6当初予算): 8,338千円

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
①②③④ セミナー、視察会、研修会	R5.6 R5.7 R5.10-R6.1	R6.7-R8.3	
⑤体験コンテンツ造成		R6.10-R7.2	R7.4-R8.3
⑥ 情報発信	R5.4-R6.3	R6.4-R8.3	
⑦ 実践者支援	R5.4-R6.3	R6.4-R8.3	



セミナー



先進地視察会



体験コンテンツ造成(イメージ)



防災カーテン・火災報知器を設置

農林漁家民宿 (4,843名)	2,804 (57.9%)	2,039 (42.1%)
農山漁村宿泊施設 (36,291名)	20,905 (57.6%)	15,386 (42.4%)

国内外宿泊者数の内訳(R5年度)

■国内 ■国外

観光振興シェアサービス事業

1 目的・ねらい

東かがわ市内に点在する観光資源、ものづくり工場、飲食を結びつけ、観光振興を図る

2 事業概要・事業費・時期

東かがわ市内に点在する観光資源、ものづくり工場、飲食を結びつけ、「市内周遊を促す電動レンタサイクル等の二次交通の環境整備」や、「ファミリー層向け体験型観光商品の企画」等を通じて、産業振興や地域活性化へとつながる観光を推進することを目的とするもの。

- ① レンタル・シェアサービス検討
- ② 電動レンタサイクルの実証実験
R6.7~R6.12の期間で実証実験し利用者にアンケートをとり、今後の運用方法の検討に繋げる。
- ③ 観光商品の企画・実行
R6年度~R7年度は実施内容未定

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
① レンタル・シェアサービス検討		←→	
② 電動レンタサイクルの実証実験		←→ R6.7~R6.12	
③ 観光商品の企画・実行		←→	

環境に配慮したシェアリング事業の展開による持続可能な東かがわ市観光振興プラン

【展開イメージ】

マールリッコ2階の空きスペースに安戸池を臨むコワーキングスペースを整備あわせて、オンラインミーティング等で活用できる個室ブースを設置

電動自転車を出し周辺観光地へ

+αのシェアリング事業の展開

ソーラーポートEVシェアリング 水上アクティビティの展開 キックボード

愛される、安全・安心で暮らしやすい地域をともに創る事業

- ① ランプロファイヤ岩壁
- ② しろとり動物園
- ③ 白鳥神社
- ④ マールリッコ
- ⑤ 引田城跡
- ⑥ 旗州井筒屋敷
- ⑦ 湾岸アート
- ⑧ 買山温泉

出典：①～⑧の画像は一般社団法人東かがわ市観光協会HPより引用

県内への新技術の導入促進

49 空飛ぶクルマ実装促進事業

50 IoTを活用した牡蠣養殖による水産業持続的発展事業

空飛ぶクルマ実装促進事業

1 目的・ねらい

都市の渋滞回避や離島・山間部での新たな移動手段など地域課題解決のための有用性が期待される「空飛ぶクルマ」について、県内での事業展開を促進する。

2 事業概要

事業費(R6当初予算): 15,100千円

①補助事業(事業費 10,100千円)

県内での実現に向けた環境整備のため、企業が行う県内での実証試験や調査・検証等に対する補助(補助率 1/2、上限5,000千円)

採択事業者	事業内容
四国航空株式会社	空飛ぶクルマの代替としてヘリコプターを利用した実証実験により、空飛ぶクルマを利用した新たな移動サービスの実現性や事業性、課題の洗い出しを行うモニター事業を行う。
中央復建コンサルタンツ株式会社	サンポート高松周辺、高松空港周辺、小豆島・土庄港周辺、直島の4エリアにおける空飛ぶクルマの離着陸場設置の可能性を底地面積、空域の観点などから検証し、離着陸場施設の概略検討を行う。

②社会受容性向上に向けた取組み(事業費 5,000千円)

空飛ぶクルマに対する県民や地域社会の理解促進につなげるため、空飛ぶクルマの実証飛行イベントの開催、子ども向けワークショップの開催等



空飛ぶクルマのイメージ(機体メーカー提供) ©株式会社SkyDrive



実機展示イベントの様子(R6.1.21開催)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
香川版官民協議会の運営	R5.3官民協議会設立	R6.3ビジョン、ロードマップ策定	
需要予測調査等	R5.7-R6.2有望ルート案抽出、事業経済性評価		
社会受容性向上につなげる取組み	R5.9- 県HPでの発信、イベントでの情報発信等		
企業の実証事業への補助		R6.5-R7.3 企業による実証事業等への補助	

IoTを活用した牡蠣養殖による水産業持続的発展事業

1 目的・ねらい

経験がなくてもできる「牡蠣養殖」を事業化し、新産業の創出を目指す

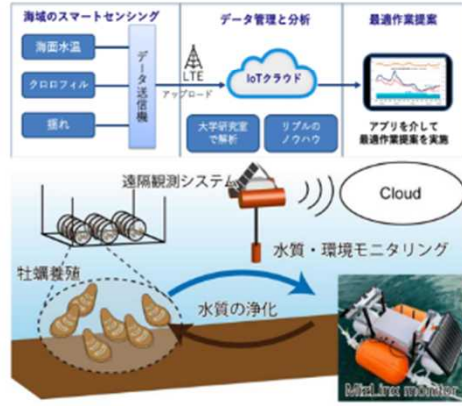
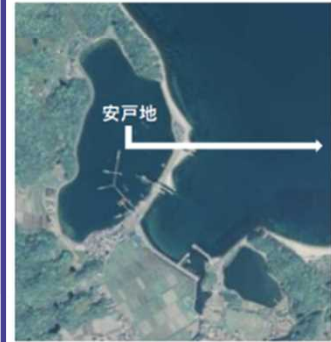
2 事業概要

- ・データ連携を活用した牡蠣の試験養殖を、ハマチ養殖発祥の地である東かがわ市の安戸池で実施する。
- ・国の令和4年度2次補正予算「デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)」の採択事業。具体的には、「スマート養殖システムによる牡蠣養殖」として、人工三倍体種苗を養殖カゴで育てるシングルシード方式を採用、環境データを収集・分析し、最適な養殖作業の実現を図る。
- ・「海洋モニタリングシステムによる環境負荷の軽減」として、牡蠣養殖による水質浄化作用を数値化し環境に低負荷な養殖につなげる。この取組みは、万博のめざすSDGs達成に資する取組みであり、万博のテーマ事業の一つ、「いのちを育む」とも親和性が高い。
- ・2025年の万博のにぎわいを地域へ誘引することもめざし、牡蠣を使った新しいお土産の開発などを行う。

IoTを活用した牡蠣養殖による東かがわ市水産業持続的発展事業

安戸池（香川県東かがわ市引田）は世界で初めてハマチ養殖の事業化に成功した「ハマチ養殖発祥の地」。その安戸池で、データ連携を活用したスマート水産業「牡蠣養殖」の試験養殖を実施。安戸池外への展開につなげ養殖業の生産性向上と環境負荷の軽減との両立を図る。獲得したノウハウを市内漁業者に共有することに加え、水産物の加工や販売を支援し、漁業者の所得向上と年齢のバランスのとれた漁業就業構造を達成し、より持続可能な水産業を目指す。

【展開イメージ】



【スマート牡蠣養殖システム】

- ・三倍体種苗をカゴで養殖
- ・IoTセンサーでデータの収集・解析
- ・アプリで最適作業を提案

【海況モニタリングシステム】

- ・IoTセンサーで環境モニタリング
- ・漁業者の端末で閲覧可能



3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
①IoTを活用した牡蠣の試験養殖	↔		
②牡蠣養殖の事業化		実施内容未定	
③環境データの計測	↔ R6年度～R7年度は実施内容未定		

教育活動への活用

52 「大阪・関西万博」未来を担う子どもたちの体験学習支援事業

「大阪・関西万博」未来を担う子どもたちの体験学習支援事業

1 目的・ねらい

世界とのつながりなくして地域の産業や経済、生活は成り立たなくなっている中、子どもたちが大阪・関西万博に訪れることで、県教育基本計画に掲げる「グローバル人材の育成」に資する国際理解教育の推進や「課題解決能力の育成」に寄与する課題解決型学習の推進などにつなげる。

2 事業概要

①事業概要

子どもたちが、「いのち輝く未来社会のデザイン」を掲げる「大阪・関西万博」を体感・理解することは、県教育基本計画の基本理念の推進につながることから、学校教育活動として大阪・関西万博への参加を促進し、新しい価値観に触れる機会を創出する。

事業費 令和6年度当初予算:3,260千円、令和7年度 債務負担:418,320千円

②補助対象事業

学校教育活動として県内の小学校、中学校、高校、特別支援学校、高等専門学校(4、5学年除く)等が、大阪・関西万博に参加する事業(※)

※修学旅行の一行程として参加する場合や校外学習等で参加することを想定。

③補助対象経費等

- ・入場チケット料金(補助率10/10)
- ・交通費(貸切バス借上代、有料道路料金、公共交通機関利用代金等) (実費1/2、上限10万円/学級)



「県教育基本計画」より

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
制度設計		R6.1-3月頃	
周知		R6.4-R7.10月	
事業実施		R6.4-R7.10月	

機運醸成

- 54 香川経済同友会の取組み
- 55 四国経済連合会の取組み
- 56～58 四国経済産業局の取組み
- 59 万博見学ツアー造成事業

大阪・関西万博の機運醸成への取組み

1 目的・ねらい

香川経済同友会会員に対して大阪・関西万博の情報発信等により機運醸成を図る。

2 事業概要・事業費・時期

- ①関西経済同友会を中心として、全国各地の経済同友会と連携し、「大阪・関西万博」に関する情報収集を継続的に実施する。(関西経済同友会:「大阪・関西EXPO委員会」を設置)
- ②香川経済同友会全会員に対して「大阪・関西万博」の機運醸成を図るため、メールニュースを活用したタイムリーな情報発信を継続的に実施する。
- ③講演会や会議体での機運醸成に向けた周知・情報発信活動を適宜実施する。(詳細は以下のとおり)

3 講演会や会議体での機運醸成に向けた周知・情報発信活動

周知時期	活動内容
2022年5月31日	令和4年度通常総会にて講演会を開催 演題:「大阪・関西万博の最新動向と多様な参加方法について」 講師:公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 理事副事務総長 櫛 真夏氏
2023年9月15日	関西経済同友会大阪・関西EXPO委員会主催のオンライン講演会を全会員に案内 演題:「大阪・関西万博における催事の最新動向」 講師:大阪・関西万博 催事企画プロデューサー 小橋 賢児氏
2023年11月28日	当会ホームページ(トップページ)に「大阪・関西万博公式ホームページ」のバナーを掲載
2024年2月27日	当会会報誌(全会員あて年2回発行)送付時に、「くるぞ、万博。」のチラシを同封
2024年7月18日	西日本経済同友会代表者会議(関西経済同友会主催)で、当会代表幹事が万博建設会場を視察
今後(適宜)	正副代表幹事会など会議体での周知や全会員あての情報発信活動を適宜実施

大阪・関西万博の機運醸成活動

1 目的・ねらい

大阪・関西万博に対する四国経済連合会会員の認知度を高めることなどで機運醸成を図る。

2 事業概要・事業費・時期

- 「大阪・関西万博」に対する四国経済連合会の会員企業の認知度を高めるため、HPでの周知を適宜、実施している。

- ・ 万博開催前〇日という節目の周知（例：1000日前、500日前など）
- ・ 大阪・関西万博に関するセミナー等の情報の周知（右図①）

- 2023年8・9月合併号以降、当会会報での万博に関する情報発信（右図② 直近2024/9月号の掲載参照）

- 西日本経済協議会（北陸・中部・関西・中国・四国・九州の経済団体で構成）の広域観光分科会で、西日本の広域連携DMOの4団体が万博をターゲットに開設したインバウンドの周遊促進をはかるための共通英語Webサイト「Greater West Japan」の海外取引先等へのPR協力・認知度向上を当会が提案、採用された。

【参考】2023年度の主な実施事業

- 2023年10月13日、当会常任理事会において、2025年日本国際博覧会協会 副会長・理事、機運醸成委員会 委員長の松本正義氏（関西経済連合会会長）に万博の機運醸成に向けた講話をいただき、万博公式キャラクター「ミャクミャク」とともにテレビ・新聞で報道された。
- 万博開催500日前（2023/11/30）直後の当会12月号会報発送時には、前売りチケット販売開始のお知らせと、新たなPRツールのサンプルを全会員へ郵送し、会員企業での機運醸成活動への協力依頼を行った。

①

「大阪・関西万博に向けた最新の動きと観光ポータルサイトの活用」に関するオンラインセミナーのご案内

（2024.9.3更新）

大阪・関西万博開幕200日前（本年9月25日）を迎えるにあたり、2025年日本国際博覧会協会と四国ツーリズム創造機構等が共同で実施する大阪・関西万博の最新の動きや観光ポータルサイト※に関するオンラインセミナーのご案内がありました。参加をご希望される方は以下のURLよりお申込みください。（お申込みいただいた方には、後日、正式の開催案内、URLをご連絡いたします。）

※大阪・関西万博観光ポータルサイト「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」・・・全国各地での観光体験や旅行商品の検索に加えて予約から決済までできるサイト

- 日時： 2024年9月25日（水） 10:00～11:30
- 場所： オンライン開催
- 主催： 2025年日本国際博覧会協会、四国ツーリズム創造機構
- 費用： 参加無料
- 申込フォーム： <https://forms.gle/kz71P9JaWktFrdV29>
- 申込締切： 2024年9月18日（水）17:00

（別添資料）ご案内チラシ 

②

万博に関する情報をHPに掲載

2025年大阪・関西万博に関連する情報

大阪・関西万博に関連する四国4県の動きをご紹介します。今回は愛媛県内の取組みについてご紹介します。

愛媛県内の万博に関する取組みについて

- 愛媛県は、万博会場内でのバス出展等を予定しています。
 - 【県内市町の主な取組み】
 - 新居浜市は、太鼓台演技を軸とした新居浜太鼓祭りイベントを予定しています。
 - 四国中央市は、内閣府と連携し、特別大会「香道パフォーマンス甲子園 in EXPO」を予定しています。
 - 愛南町では、カナダと万博国際交流イベントを予定しています。
- *愛媛県の万博に関する情報は、県HPで随時発信することですので、是非ご覧ください。



お問い合わせ先
愛媛県企画振興部総合政策課 TEL: 089-912-2233

四経連会報 No.738
発行日 2024年9月
発行所 四国経済連合会
〒760-0033 高松市丸の内2番5号
(ヨシデンビル本館4階)
TEL (087) 851-6032
FAX (087) 821-9384
<https://www.yonkeiren.jp/>
印刷所 株式会社レコムコミュニケーションズ
この会報は、著作権法のため複製・転載を禁じています。

万博に関する情報を会報に掲載

万博の機運醸成に向けた取組

1 目的・ねらい 万博を契機とした四国への誘客・集客、地域活性化に向け、万博に対する関心や参画意識の向上を目指す。

2 事業概要・事業費・時期

①機運醸成活動

万博への関心や参加意識の向上を図るため、機運醸成活動に取り組む。

(実施済)

- 公用車ナンバープレートの万博仕様への変更【R5.4】
- 職員による万博仕様名刺の活用【R5.4～】
- 「Local X FORUM Vol.3」(オープンファクトリー)での万博説明【R5.11】
- 職員の参画意識・情報発信力向上を目的とした研修の実施【R5.11.30】
- サンポート合同庁舎へののぼり設置・ポスター掲示【R5.12～】
- 業界団体等の会合にて万博チケット情報を周知【R5.12～】

(前回会議2月以降に実施した取組)

- サンポート合同庁舎の野外電光表示による万博メッセージ発信【R6.3～】
- 地域イベントへのブース出展やミyakumiyaku招聘を通じたPR
 - ・せとうち島旅フェス2024(JB本四高速)【R6.5】
 - ・CRASSO 2024 vol.3【R6.5】
 - ・産総研四国センター一般公開(産総研)【R6.8】
 - ・阿波踊り(徳島市)※博覧会協会との共同出展【R6.8】
 - ・四国クラフト(四国地域内の産品展示)開催【R6.9】

(今後の予定)

- せとうちマルシェ(JB本四高速)ブース出展予定【R6.10】
- CRASSO 2024 vol.4 ブース出展予定【R6.11】

②万博説明会等の開催

博覧会協会と協力し、万博の最新動向等について自治体、経済団体、企業等に対して情報提供を行う。

(実施済) 経済団体向け、自治体向け、金融機関向け

(今後の予定) 経済団体等に対し、随時(希望者には定期)最新情報を提供。

【①機運醸成活動】



公用車ナンバープレートの仕様変更 (R5.4～)



イメージ画像 (出展：国交省ウェブサイト)



万博のぼり作成、サンポート合同庁舎におけるPR(R5.12～)



島旅フェス (R6.5)



CRASSO (R6.5)



産総研四国センター (R6.8)

【②説明会の開催】



阿波踊り (R6.8)



万博オンライン説明会開催 (R5.8.27)

③博覧会協会等関係機関との連携
博覧会協会等関係機関と地域における機運醸成等について協議を実施。

(実施済)

- 博覧会協会との意見交換
- 経済産業局瀬戸内ブロック会議
- 内閣官房国際博覧会推進本部事務局との意見交換

(今後の予定) 随時実施予定

④誘客関連プロジェクトの推進

万博を契機とした四国への誘客促進を図るため、地域一体型オープンファクトリーなどの誘客関連プロジェクトを推進する。

(実施済)

- 香川県東部地域のオープンファクトリー「CRASSO」の開催支援
 - ・ CRASSO 2023 vol.2 【R5.11】
 - ・ 「つくり手の想いに触れる旅 ∞」（四国地域内の产品展示）の開催 【R5.11】
 - ・ 「スマートモビリティCRASSO号」の運行（移動支援実証）【R5.11】
 - ・ 「Local X FORUM Vol.6」（大阪開催）でのCRASSOの取組発信【R5.12】

(前回会議 2月以降に実施した取組)

- CRASSO 2024 vol.3 【R6.5】
- 四国の未来共創セミナー開催予定 【R6.9】

(今後の予定)

- CRASSO 2024 vol.4 【R6.10】

【④誘客関連プロジェクトの推進】



CRASSO（オープンファクトリー）との連携



当局主催セミナー（R6.9）

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
①機運醸成活動	←————→		
②万博説明会等の開催	←————→		
③博覧会協会等関係機関との連携	←————→		
④誘客関連プロジェクトの推進	←————→		

TEAM EXPO 2025（共創パートナー）の活動

1 目的・ねらい

四国の魅力発信等を目的とした「共創チャレンジ」を支援・創出することにより万博開催と地域での動きをリンクさせ、万博来場者を四国へ誘客するなど地域活性化を図る。

2 事業概要・事業費・時期

①共創チャレンジの創出・支援

「TEAM EXPO 2025」プログラムのPR資料を作成し、管内関係機関へ広く配布・紹介。SDGsへの取り組みを推進する企業等に個別アプローチ、登録に向けたフォローを実施。

（実施済）

➢ 地元タウン情報誌への協力要請【R5.10】

（前回会議2月以降に実施した取組）

- 学生による共創チャレンジ「Co-Lab EXPO」イベントへの運営協力【R6.7】
- 企業・自治体・団体等への個別アプローチ 約250件【R5.8～R6.9現在】
（その他局職員が出席するセミナーや会合でも、資料配付や説明を実施。）
- 当局を共創パートナーとする共創チャレンジを50件以上創出【R6.9現在】

（今後の予定）

- 毎月のプレス懇談会や、局HPでの共創チャレンジ事例の発信【R6.4～】
- 地元学生と「CRASSO」の連携による、共創チャレンジ創出支援【R.6.8～】

②TEAM EXPO関連イベント等の実施検討

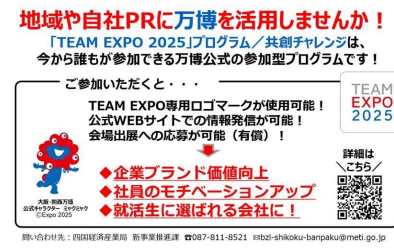
2025年の万博開幕に向け、共創チャレンジ等の取組紹介、交流機会の場を創出。

（前回会議2月以降に実施した取組）

- 「四国の未来共創セミナー」において、上記学生との連携事業を発信【R6.9】

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
①共創チャレンジの創出・支援	→		
③TEAM EXPO関連イベント等の実施検討	→		



「TEAM EXPO 2025」PR名刺の作成



プレス懇談会での共創チャレンジ登録者による取り組み発表



局HPでの共創チャレンジの事例紹介



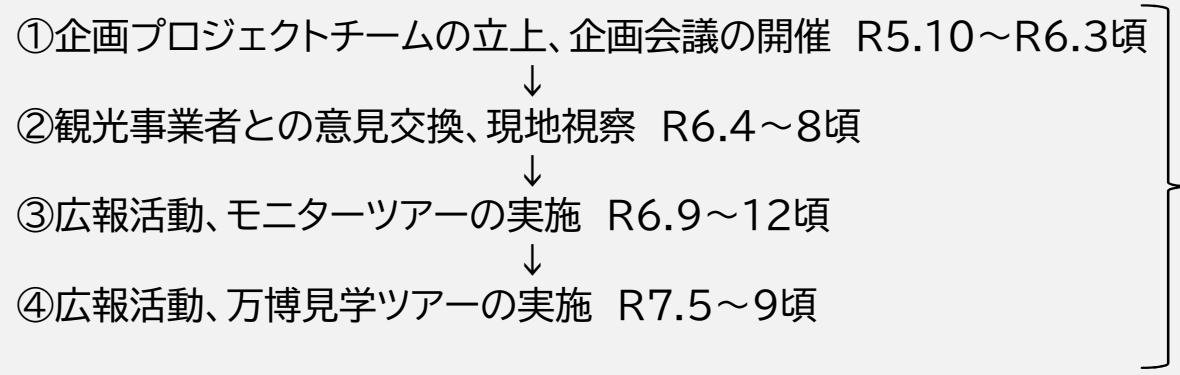
「四国の未来共創セミナー」学生チーム

万博見学ツアー一造成事業

1 目的・ねらい

県民対象に万博日帰りツアー造成、催行して万博機運を高め、合わせて香川県内着地型旅行商品のPRをする。

2 事業概要



大阪・関西万博開催期間中に
ANTA会員取扱特別ツアーの実施
(R7.5～9頃)

3 工程表

項目	R5年度	R6年度	R7年度
①企画プロジェクトチーム立上、企画会議開催	←→	R5.10～R6.3頃	
②観光事業者との意見交換、現地視察		←→ R6.4～8頃	
③広報活動、モニターツアーの実施		←→ R6.9～12頃	
④広報活動、万博見学ツアーの実施			←→ R7.5～9頃